

管理所レビュー VOL.10

(R 5. 9. 26 水源林管理所)

令和5年度の第10回ボランティア活動が、9月9日(土)に予定どおり実施されました。

道志村は台風13号の接近に伴い、6日から雨が降ったり止んだりを繰り返し、8日には大雨の予報も出ていましたが、幸い大した雨にならずに済みました。

林内が濡れた状態で滑りやすく蒸し暑い中での作業でしたが、安全に注意して作業を行いました。皆さん大変お疲れ様でした。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 活動日の様子



雲が低く立ち込めています。



準備体操をしっかりと。



いってらっしゃ〜い!



濡れた丸太は滑りやすいので注意!



切り込み具合の確認を!



かかり木処理は基本に忠実に!



ロープ引きは伐倒木に注目して!



追い口切りで伐倒方向調整。



枝払いも注意して!



補助ロープを使って安全に!



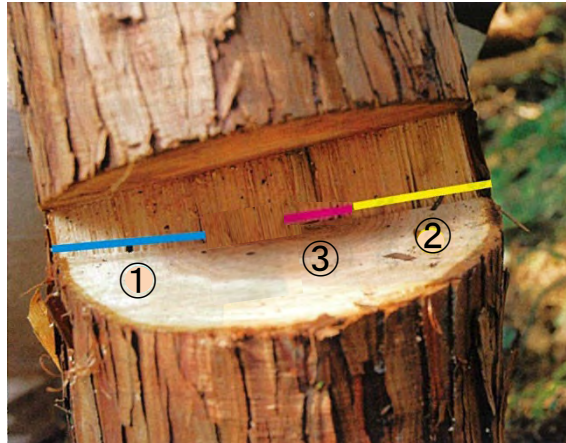
濡れた急斜面はいつも以上に注意!



鋸の整備、ありがとうございます!

2 木回しベルト使用時の切り残し（つる）の切り方について。

今回の活動においてもかかり木が何件か発生しました。かかり木の処理は、間伐作業における事故の中でも多くの割合を占めるなど、大変な危険を伴います。以前にも紹介しましたが、安全なかかり木処理の方法である木回しベルトを使う際の切り残し（つる）の切り方の手順を改めて紹介します。



- ① 切り残し（つる）を切る際にノコギリが挟まれやすいと思われる方（後に切ると挟まれる方）から 1/3 程度切る。
- ② 反対方向を 1/3 程度切る。
- ③ 真ん中の残った部分 1/3 の挟まれにくい方を確認しながら半分ほど切る。
かかり木の状態を確認し、木回しベルトを適切な方向に回すためのセッティングをして木を回転させる。



○ 木回しをセッティングした状態



○ 切り残し（つる）の中心部が回転によってちぎられて倒れます。



○ 伐根の状態

「全国林業改良普及協会発行 林業新知識」より一部抜粋

※ 残した部分が多いとなかなか回りませんが、切りきってしまうと大変危険です。切りきらなように注意しながら少しずつ切りましょう。

※ 9月27日（水）は、曇り、最高気温27度の予報です。

★それでは9月27日（水）、気をつけてお越してください。